MITSUBISHI ELECTRIC

2203876H94001

フラット形 レンジフードファン

形 名

V-754FR2・V-904FR2

据付説明書

販売店･工事店様用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この説明書を必ずお読みください。

■据付けはお買上げの販売店、工事店様が実施してください。
■電気工事は電気工事士の方が実施してください。
■本製品は住宅の台所用です。業務用途では使用できません。
■本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など）がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
■接続ダクトはφ150の鋼板管･スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。

■別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

もくじ

安全のために必ず守ること… 1
据付け前のお願い…… 2
外形寸法図…… 3
据付方法…… 4～7
据付け後の確認…… 8
試運転…… 8
お客様への説明…… 8

安全のために必ず守ること

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

水ぬれ禁止	**直接水のかかる場所や湿気の多い場所には据付けない** 感電および故障の原因。
分解禁止	**改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因。
プラグを抜く	**ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る** 通電状態では感電の原因。
指示に従う	**交流100Vを使用する** 直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因。
指示に従う	**製品金属部(金属製ダクト)がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように据付ける** 接続されていると漏電した場合火災の原因。
アース線接続	**D種接地工事を行う** 故障や漏電した場合感電の原因。

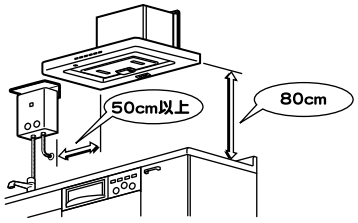
⚠注意　誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

指示に従う	**指定のランプを使用する** 間違ったランプを使用するとランプ周辺が高温になり、やけどの原因。
指示に従う	**本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によりけがの原因。
指示に従う	**据付けの際は手袋を着用する** 着用しないとけがの原因。
指示に従う	**部品の取付けは確実に行う** 落下によりけがの原因。
指示に従う	**電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って電気工事士が安全・確実に行う** 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
プラグを抜く	**据付け後長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

据付け前のお願い

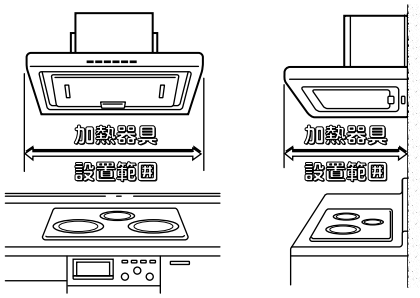
下図の据付け寸法を守る

●本体の下端からIHクッキングヒータまたはガスコンロまでは80㎝以上必要です。



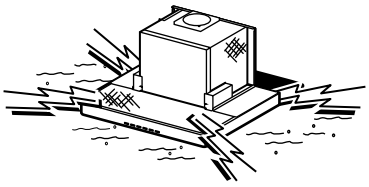
（モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります
また80㎝未満の場合誘引流によりガスコンロの燃焼の妨げになることがあります）

●加熱器具はレンジフードファンの幅以内に設置してください。

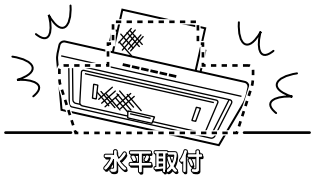


（捕集性能が得られないことがあります）

直接コンクリートなど、傷のつきやすいもののうえには置かない



本体は水平に据付ける（前後・左右）
（羽根当たりや異音の原因になります）



ダクト工事

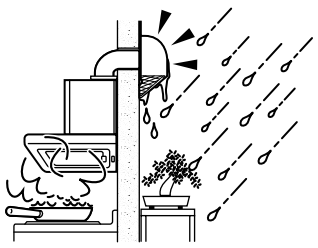
●排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけてください。

●先端に屋外フード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取り付けてください。

●次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）

●極端な曲げ　●多数の曲げ　●吐出口のすぐそばでの曲げ　●しぼり

●システム部材の選定には圧力損失の少ないものを使用してください。
（製品性能が得られないことがあります）



排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材を用意しております、ご購入の上利用ください。

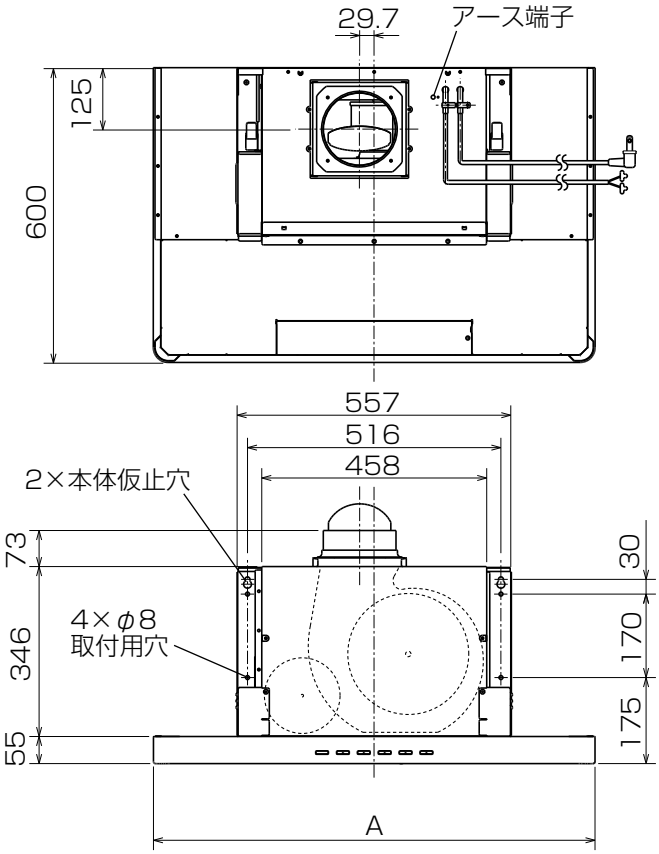
●鳥などの侵入防止にベントキャップ
●雨水の浸入防止に深形フード
●吹き上げが強いところには耐外風高性能フード

●建物全体の24時間換気を行うものではありません。
（調理などの局所換気時の風量切換（中・強ノッチ運転）により、建物の換気バランスが悪くなります）

●室内には専用の給気口を設けるようにしてください。
（扉の開閉が困難になったり、製品性能が得られないことがあります）

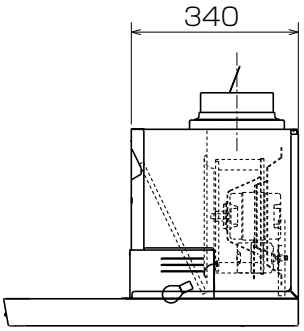
●油煙は風の影響を受けやすいため、空調機や給気口からの風が直接あたらないようにしてください。
（油煙等の漏れの原因となります）

外形寸法図

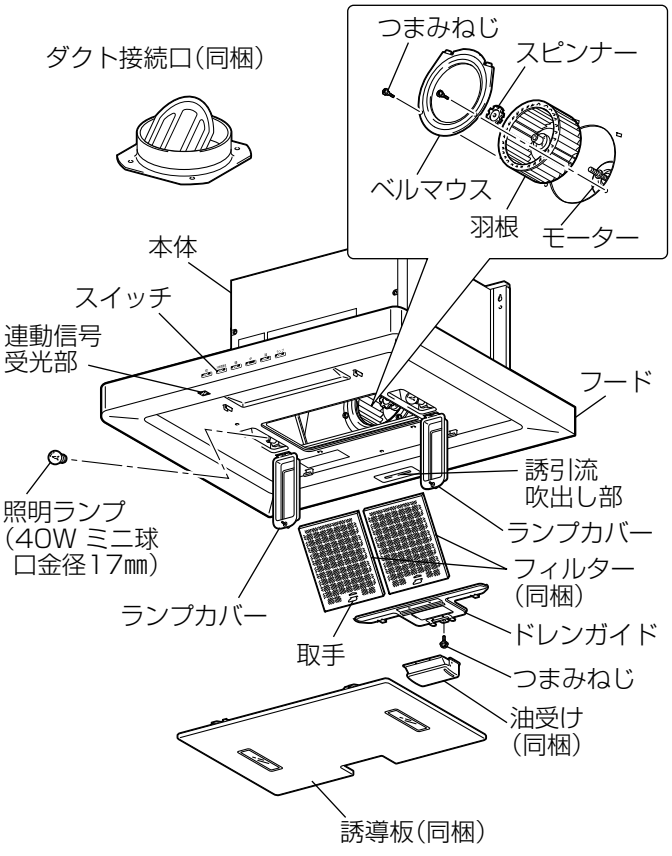


■変化寸法表　　単位(㎜)

形　名	A
V-754FR2	749
V-904FR2	899



各部のなまえ



付属部品

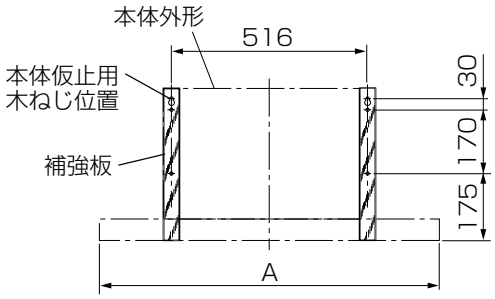
●下記の付属部品があります。

木ねじ	タッピングねじ	ワッシャー
(大) 6.2×32 …4本 (小) 4.1×25 …2本	4×8…4本	(大) …2個 (小) …2個

据付方法

この製品は壁据付け専用です。

1 据付け前の準備



■変化寸法表 単位(㎜)

形　名	A
V-754FR2	750
V-904FR2	900

板張りの場合

- 板厚20㎜以上の場合は直接壁に据付ける。20㎜以下の場合は20㎜以上になるよう補強板を取り付ける。

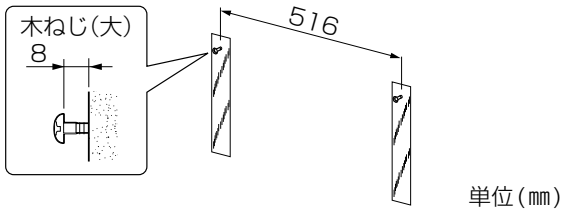
コンクリート、タイル、土壁の場合

- 新築の場合はあらかじめ補強板を壁に埋め込む。
- 既築の場合はコンクリートビスなどを利用するか補強板を固定して据付ける。

お願い

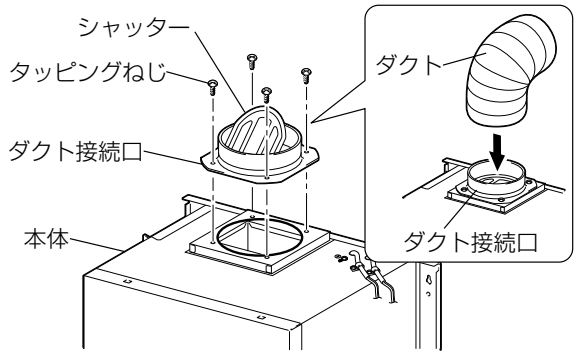
- 新築・既築により準備が異なりますがいずれの場合も壁に十分な強度をもたせてください。
- IHクッキングヒータを使用した場合、ダクト配管内で結露発生のおそれがあるため、屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけ、結露水が屋外に排出されるようにダクト配管してください。
  (P2据付け前のお願い事項のダクト工事の項を参照してください)
  また結露水漏れがないようにダクトの継ぎ目はシーリングを確実に行ってください。

2 木ねじ締め付け



付属の木ねじ（大）2本を図のように8㎜程度残して締め付ける。

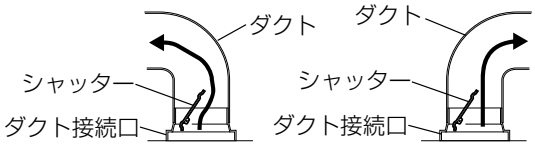
3 ダクト接続口の取り付け



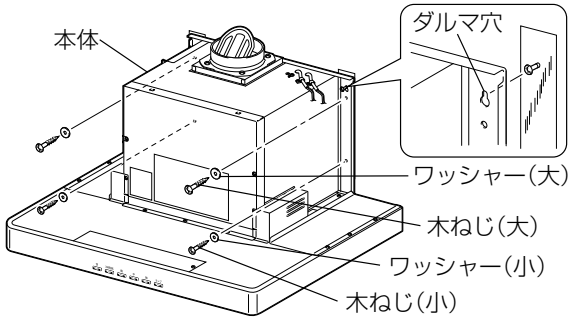
付属のタッピングねじで同梱のダクト接続口を本体に取り付ける。

お願い

- シャッターの開き方向とダクトの曲がりは図のようにしてください。排気方向と逆にダクトの曲がりがありますと、排気性能が悪くなります。



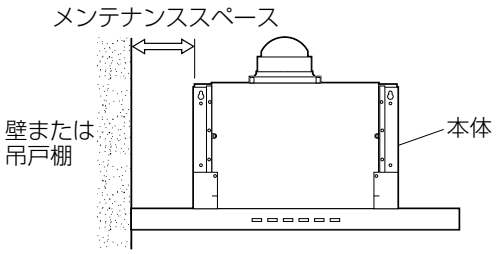
4 本体の据付け



1 木ねじに本体を引掛ける。

2 製品の傾きがないように付属の木ねじ（大、小）とワッシャー（大、小）で本体4か所を固定する。
(締め付け位置は、図を参照ください)

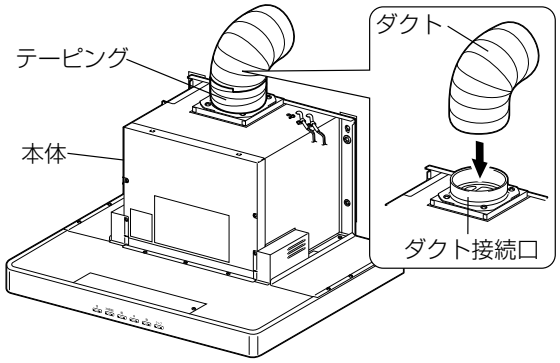
3 仮取り付けした木ねじを締め付ける。



お願い

- 本体上部の送風機ユニット左横のメンテナンススペースを確保してください。メンテナンススペース内に梁などの障害物があると、回路や誘引流用送風機のサービスメンテナンスができなくなります。

5 ダクト工事

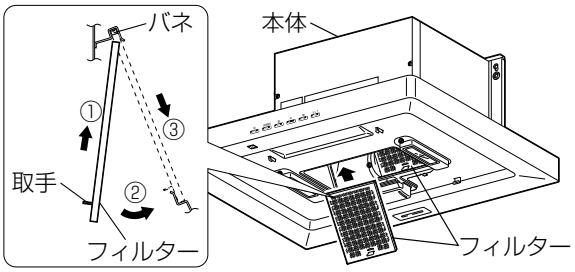


ダクト接続口にダクトを接続し、市販のアルミテープなどの耐久性のあるシールテープで風漏れのないようにテーピングする。

お願い

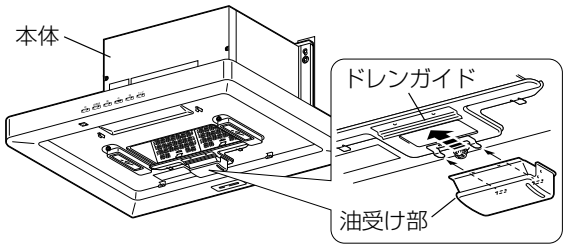
- ダクト配管の曲がりが多かったり、配管が長いと風漏れしやすくなるため、その際はダクト接続口の周囲にもテーピングしてください。
- ダクト接続口に無理な力を加えないでください。
  変形し、風漏れやシャッター動作不良の原因になります。
- シャッターがダクトに接触しないように設置してください。異常音の発生や製品性能が得られないことがあります。

6 フィルターの取り付け



同梱のフィルターの取手を持ち、上部を差し込み、下側をはめ込む。

7 油受けの取り付け

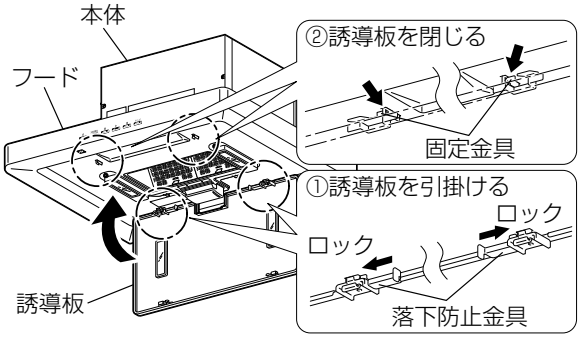


同梱の油受けを手前へスライドしてカチンとした感触があるところまではまっていることを確認する。

お願い

- 油受けが正しくセットされていることを確認してください。
  正しくセットされていないと落下することがあります。

8 誘導板の取り付け



1 **同梱の誘導板をフードに引掛け、落下防止金具をスライドしてロックする。**

2 **誘導板を持ち上げて固定金具がフードにカチンと掛かるまで押し上げる。**

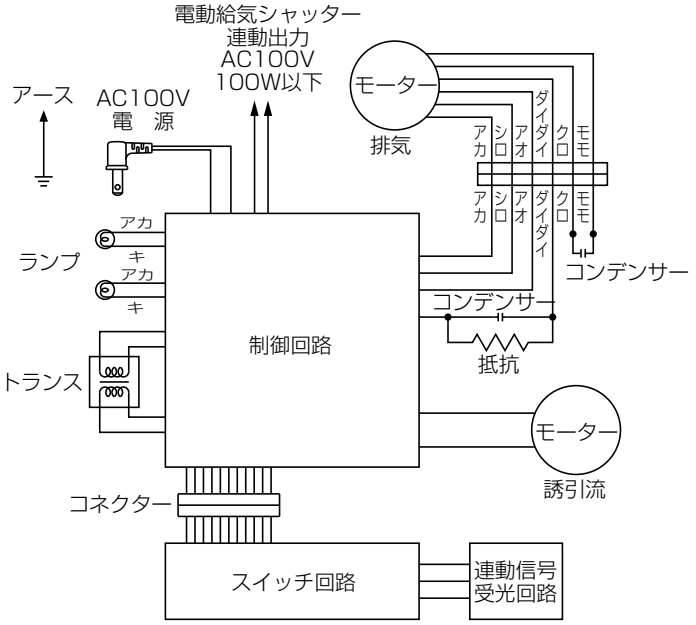
お願い

- 誘導板が正しくセットされていることを確認してください。
  誘導板が付いていないと吸い込み性能が著しく低下します。
  また正しくセットされていないと落下することがあります。
  誘導板の両側を持って軽く下げた時に落ちないことを確認する。

据付方法 つづき

9 電気工事

■結線図



1 アース端子を使用して必ずD種接地工事を実施する。

2 電動給気シャッターを使用する場合は、連動出力コードの先端を切断して電動給気シャッターに接続する。

お願い

- 電動給気用シャッター連動出力には、AC100V 100W以下の製品を接続してください。
- 使用しない場合はコードをまとめて本体に絶縁テープ等で固定してください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む。

⚠警告

■D種接地工事を行う

アース線接続

故障や漏電した場合感電の原因。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

指示に従う

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因。

⚠注意

■電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って電気工事士が安全・確実に行う

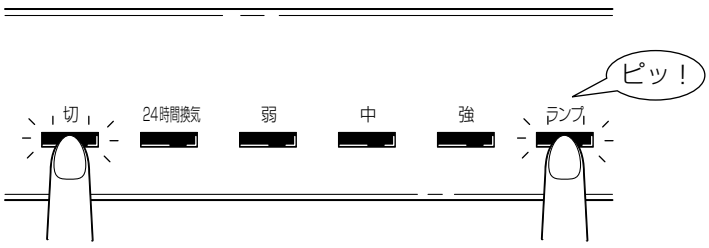
指示に従う

10 加熱器（IHクッキングヒータまたはガスコンロ）と連動運転を設定する場合

この製品は、赤外線式換気扇連動機能付の加熱器との連動運転ができます。

以下の手順で連動運転の設定をしてください。（設定しない場合は12項へ進む）

- 連動設定状態への移行は、電源投入後、ファン（強・中・弱）を運転させる動作を行う前に実施してください。
  ファン運転操作を実施した場合は、ブレーカを切るか、プラグを抜いてから再度電源を投入して実施してください。
- 加熱器の電源を投入して実施してください。



1 スイッチの「切」と「ランプ」を同時に2秒間押す。
「ピッ」とブザーが鳴り、スイッチの表示ランプが全て点滅する。
- 点灯の場合は「弱」、「中」、「強」のスイッチを同時に2秒間押す。
  「ピッ」とブザーが鳴り、スイッチの表示ランプが全て点滅します。

2 加熱器側で換気扇の操作スイッチを押す。
信号を正常に受信すると「ピー」とブザーが鳴り、表示ランプが消灯して設定が完了します。
加熱器側の信号を認識できない場合は、スイッチの表示ランプが全て点滅し続けます。

前記の操作で連動設定ができない場合、下記の手順で連動設定することができます。

下表の「レンジフード側設定スイッチ」と「加熱器操作」の組み合わせに基づき設定してください。

①スイッチの表示ランプが全て点滅した状態で「レンジフード側設定スイッチ」を（例：24時間換気）押すと押したスイッチの表示ランプが点滅します。（その他のスイッチは点灯します）

②10秒以内に「加熱器操作」（例：加熱器切）を行う。

③信号の受信が完了すると、「ピー」とブザーが鳴り、表示ランプが全て点灯します。

④全ての「加熱器操作」について上記①～③の操作を繰り返し実施する。

メモ

- 既に設定が完了している「レンジフード側設定スイッチ」を押した場合もしくは、既に設定が完了している「加熱器操作」をした場合は、表示ランプが点滅したままブザーが鳴ります。

⑤全ての設定が完了したら、スイッチの「切」と「ランプ」を同時に2秒間押す。「ピー」とブザーが鳴り、表示ランプが消灯します。

⑥「加熱器操作」と「レンジフードの動作」が合っていることを確認してください。

連動設定ができる「レンジフード側設定スイッチ」と「加熱器操作」

レンジフード側設定スイッチ	加熱器操作	レンジフードの動作
24時間換気	加熱器　切	停止
弱	加熱器　入	運転（中ノッチ）
中	換気　切	停止
強	換気　入	運転（風量切り替え）
ランプ	ランプ　入切	ランプ入・切

お願い
- 加熱器の操作方法は加熱器の説明書の指示に従ってください。上記の操作でも設定ができない場合はクッキングヒータ側の信号に対応していないため連動運転はできません。

11 連動運転の再設定、取り消しをする場合

- **連動設定状態への移行は、電源投入後、ファン（強・中・弱）を運転させる動作を行う前に実施してください。ファン運転操作を実施した場合は、ブレーカを切るか、プラグを抜いてから再度電源を投入して実施してください。**

1 設定内容を消去するため、スイッチの「切」と「ランプ」を同時に2秒間押して連動設定状態へ移行した後、表示ランプが全て点灯している状態で、「弱」、「中」、「強」のスイッチを同時に2秒間押す。
「ピッ」とブザーが鳴り、スイッチの表示ランプが全て点滅します。

2 連動運転の再設定をする場合は、10項の方法で連動運転の設定を実施する。

3 連動運転を取り消す場合は、スイッチの表示ランプが全て点滅している状態で、スイッチの「切」と「ランプ」を同時に2秒間押す。
「ピー」とブザーが鳴り、スイッチの表示ランプが全て消灯します。

12 24時間換気として使用する場合

「24時間換気」スイッチを押す

- 表示ランプが点灯して24時間換気モードであることをあらわします。
- 24時間換気モードでは「切」スイッチを押すと、レンジフードファンは弱運転と同等の風量で運転し続け、誘引流は、停止します。
- 解除する場合はもう一度「24時間換気」スイッチを押してください。

お願い
- 「24時間換気」スイッチは、「風量」スイッチを押して本体を運転した後設定してください。
電源投入後の停止の状態では設定できません。

据付け後の確認

⚠警告

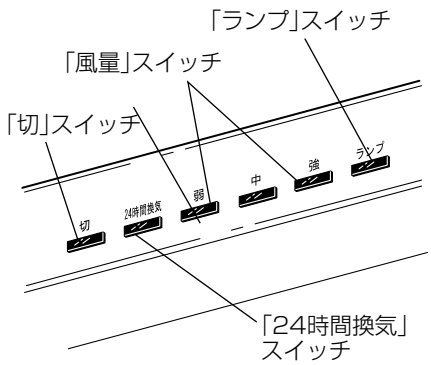
ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤ブレーカを切る
感電の原因。

■据付けが終わりましたら、次の確認をしてください。

1.本体はしっかりと固定されていますか？ランプはゆるんでいませんか？

2.D種接地工事は実施されていますか？

■電源プラグをコンセントに差し込み、次の確認をしてください。



1 電源プラグはしっかり差し込まれていますか？

2 「ランプ」スイッチを押すと照明ランプが点灯しますか？

3 「風量」スイッチを押して風量が切換わりますか？
- 加熱器を使用するとレンジフードファンが運転しますか？（連動機能付の加熱器を使用する場合）

4 それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか？また誘引流が吹き出していますか？

5 「24時間換気」スイッチの表示ランプが点灯していますか？（24時間換気で使用する場合）
- 解除する場合はもう一度「24時間換気」スイッチを押してください。

■フードの上面にホコリがないことを確認してください。
本体から吸い込まれて誘引流吹出口からほこりが吹き出すおそれがあります。

試運転

⚠警告

アースを確実に取付ける
故障や漏電した場合感電の原因。
交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因。

⚠注意

運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない
けがの原因。

別冊の取扱説明書に従って、正しい使いかたをご説明ください。

- スイッチ（強・中・弱およびランプ）を操作し運転の切替えおよび給気シャッター動作を確認してください。

※できるかぎりお客様立ち合いのもとで試運転を行ってください。

■試運転後、天井および壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体の保護のために保護材で覆ってください。

お客様への説明

■別冊の取扱説明書に従って、正しい使いかたをご説明ください。
とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。

※お客様が不在の場合は発注者（オーナーなど）または、管理人様へ説明してください。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号